

きららとちぎ

理工系チャレンジ IN 帝京大学

2024.8.22



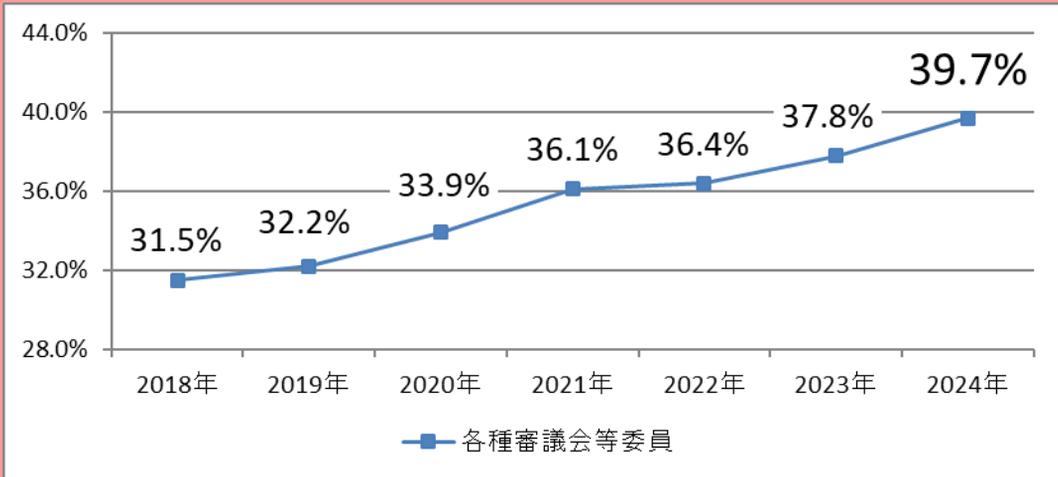
CONTENTS

- 審議会等における女性登用率…………… P2
- 理工系チャレンジIN帝京大学
令和の寅子にインタビュー…………… P3
- 参加者募集
「理工系女子応援大使 杉本雛乃さん」講演会…………… P4
- 女性に対する暴力をなくす運動



栃木市ホームページ
こちら

市の審議会等における女性登用率について



栃木市各種審議会等への女性委員の登用状況

市では、政策や方針決定の場での男女共同参画をすすめるため、「1つの審議会等の女性委員の比率を40パーセント以上」を目標に女性の登用推進に努めています。

令和6年4月1日現在、審議会委員の女性割合は39.7パーセントとなり、県内で最も高い割合となりましたが、依然として目標値に達していない審議会や女性委員のいない審議会もあることから、引き続き審議会等における女性登用を積極的に推進していきます。



理工系チャレンジIN帝京大学

理工系の進路に興味・関心のある女子小中高校生を応援する企画“リコチャレ”。3年目の今年は初めて市外へ出かけ、8月22日(木)に宇都宮市にある帝京大学理工学部で様々な活動に参加してきました。

帝京大学では、理工学部の平澤先生・高山先生のご指導のもと、次のような活動を行い、参加者からは、「とても勉強になりました！」等の声をいただきました。

実験

ウミホタルに刺激を与えてブルーに光る様子を観察する**生物発光**
光の三原色から色々な光を作る**化学発光**

見学

自動車工場 飛行機格納庫 植物温室 ITラボ

交流

先輩リケジョとの交流を通して将来について考えるグループワーク



令和の

「寅子」にインタビュー



今回は、男女共同参画の推進に携わり20年になる栃木市在住のTさんに、これまで活動が続けてこられた基礎となっているものについて、また、男女共同参画推進活動についてのお話を聞きました。

男女共同参画の基礎を 築いてくれたのは家庭から

三人兄弟の長女(第一子)として生まれ、愛情をたっぷりそそがれ育ちました。しかし、甘やかされることはなかったです。男の子だから、女の子だからと云うことなく、出来ることは、何でも教えられました。小学生でありながら家事はもちろんのこと農作業も手伝い、農機具(稲刈り機)も運転しました。でも今思うとよかったのかな。

学校生活で感じたこと



私は音楽がとても好きで、特に歌うことが好きです。

中学校では吹奏楽に興味を持ちましたが、吹奏楽部はなかったため、高校で入部を希望しましたが、当時の高校の吹奏楽部は伝統的な男子限定の部であったことから、顧問の先生に掛け合い、ようやく入部することが出来ました。

しかし、それからは、針のむしろ状態でした。上手になれば認めて貰えるのではと、必死に練習を頑張りましたが、どうして女ではだめなのだろうと差別を感じました。これほど男・女を意識したことは、なかったと思います。



社会に出て

仕事で社員教育の女性育成の担当をしていましたが、1999年「男女共同参画社会基本法」が施行されたことで、女性育成の研修が無くなってしまいました。本社にポジティブアクションの一環で引き続き実施したいと上申致しましたが、通りませんでした。

当時は「これで、子供を産むだけの違いで、女も男も同じだね」と言ったインストラクターもおり、男女共同参画社会の実現にはまだまだほど遠いと思う私は、怒りさえ覚えました。

男女共同参画推進の活動について

このような経験の中で、男女共同参画社会を進めていくには地道な努力が必要であり、また、男性の地域活動や家庭生活への参加の必要性を、小さいときから家庭・学校・地域・社会全体で教える必要があると強く感じました。

そこで、小学校・自治会・地域のイベント等で腹話術をとおして男女共同参画社会の意識の醸成を図るため、身近な話題を題材に台本を作成するなど、活動してきました。

日本においても男女共同参画社会は少しずつ実現に向け進んでいっていると感じています。先進国であるノルウェー・デンマーク・ドイツ・フィンランドも、歴史やお国柄の違いはありますが、どこの国も一様に簡単ではなかったはずです。これからも引き続き男女共同参画を推進していけるよう活動していきたいです。

令和の
「寅子」
大募集

男女共同参画推進に関わる活動をされている方を取材し、このコーナーで紹介させていただきます。
自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております





参加者募集！ 理工系女子応援大使 講演会 「夢実現へのチャレンジ」

理系って難しそう… 理系って男性？
そんなことはありません！それって思い込みや先入観。
“やりたいことが見つからない”“わたしには無理かも”
進路に悩んでいる中高生はもちろん、進路選択に限らず、今後の人生のヒントが見つかるはず。
理工系女子応援大使の杉本雛乃さんより進路決定のきっかけとなった思いや出来事、夢実現に向けた取組についてお話いただきます。ぜひ、みなさんでご参加ください。



- 日時** 12月14日(土)14時～15時30分 (13時30分開場)
- 場所** きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 大交流室
- 講師** 経済産業省 杉本 雛乃 さん
- 申込受付** 電話 または 2次元コード
0282(21)2162



11月12日～25日は 「女性に対する暴力をなくす運動」 期間です。

DVに悩んでいるあなたへ 相談してください

聞かせてほしいな

DVや性暴力で悩んでいる方へ
年齢・性別を問わず相談できます。

話してもいいのかな

デートDV、性暴力、
ひとりりで悩まないで。



- 栃木市配偶者暴力相談支援センター TEL 0282-21-2218
- 栃木警察署 TEL 0282-25-0110
- とちぎ男女共同参画センター相談ルーム TEL 028-665-8720
- 認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ TEL 028-621-9993



電話・メール 24時間受付
チャット相談 12:00～22:00

電話 24時間受付 **0120-279-889**

NEW 困難を抱える女性LINE相談@とちぎ
・火曜日と土曜日の15時～22時まで
2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力し
登録してください <https://lin.ee/inKys5f>



チャット 受付12:00～22:00
チャットはこちら
※スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。

編集後記

今回はWEB版に切り替えて、2回目の発行となりました。より旬な記事を心掛け作成してみましたがいかがだったでしょうか。皆さまのご感想をお待ちしています。